



平成 24 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン
(JASDAQ・コード番号：2776)
代表者名 代表取締役社長 姚 健
問合せ先 専務取締役 児玉俊明
電 話 03-5637-0505

平成 25 年 1 月期 業績予想（非連結）の修正に関するお知らせ

当社は平成 24 年 3 月 16 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 25 年 1 月期業績予想（非連結）（平成 24 年 2 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日）

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 7 月 31 日）

(単位:百万円 %)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,408	46	37	13	円 銭 331.35
今回修正予想 (B)	990	△19	△37	△34	円 銭 △866.62
増 減 額 (B-A)	△418	△65	△74	△47	
増 減 率	△29.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 1 月期)	—	—	—	—	円 銭 —

(注)前事業年度につきましては、前事業年度末より非連結決算へと移行したことにより、第 2 四半期累計期間における前期実績は記載してありません。

(2) 通期（平成 24 年 2 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日）

(単位:百万円 %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,950	197	179	131	円 銭 3,339.03
今回修正予想 (B)	2,244	52	15	15	円 銭 382.33
増 減 額 (B-A)	△706	△145	△164	△116	
増 減 率	△23.9	△73.6	△91.6	△88.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 1 月期)	2,641	△201	△199	△248	円 銭 △10,284.26

2. 業績予想の修正理由

(第2四半期累計期間)

当第2四半期累計期間におきましては、天候不順等による消費マインドの低下や、生活防衛意識の高まりなどの影響による節約・低価格志向等依然として慎重な消費行動が続くなど、厳しい市場環境の中での推移となりました。

このような環境の中、基幹事業であります卸売事業におきましては「T&C Surf Designs」(タウン&カントリー)及び「RUSS-K」(ラスケー)を中心に主力得意先毎への商品提案の強化と、期中プロパー(正規品)販売活動の強化に努めましたが、大手小売業等の店頭在庫消化率の悪化により、夏物の期中における販売が伸びなかったことにより、当初の販売計画数を下回りました。また、前述のような低価格志向の強まり等により、販売単価が下落しており、このような市場環境の変化に対応する為、原価構造の改革に努めておりますが、売上高の減少分を補いきれませんでした。

このような状況の中、夏物の最終処分販売として見込んでいた直近の売上についても振るわない見通しとなったことから、売上高及び売上総利益が計画を下回る見通しとなりました。

小売事業におきましては、引き続きアウトレット店舗でのプロパー商品及びキャリー商品の余剰在庫の消化を積極的に行い、売上高及び売上総利益は概ね想定内となりました。

ライセンス事業におきましては、大手小売業等の商品開発にPB(プライベートブランド)化が拡大している影響と、夏物の市場全体の消費動向が振るわず、服飾雑貨及び生活雑貨類の市場が縮小し、苦戦いたしました。

一方、販売費及び一般管理費につきましては、諸経費削減等による費用の圧縮に努め概ね計画通りの推移となりました。

しかしながら、営業面での売上高の減少による売上総利益の減少を販売費及び一般管理費の削減ではカバーすることができず、結果、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を下回る見通しとなりました。

(通期)

また、平成25年1月期通期の業績予想につきましては、引き続き景気の先行き不透明感等による低価格志向の継続が見込まれることや、現時点での秋冬物の受注状況を保守的に考慮した結果、前回予想を下回る見通しとなりました。

以上によりまして、平成25年1月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を上記の通り修正いたします。

※ 本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上